

平成 24 年度 第 3 回 円卓会議(びわコミ会議)運営委員会 議事録

日時	2012 年 6 月 18 日 (月) 18:15～20:45	
場所	県庁新館連絡通路 4-A 会議室	
	井手 慎司	滋賀県立大学環境科学部
	川端 隆弘	公益財団法人 淡海環境保全財団
	北田 俊夫	NPO 法人 びわこ豊穰の郷
	小林 泉	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
	関 慎介	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	田仲 輝子	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	中野 隆弘	びわ湖エコアイデア倶楽部
	野田 晃弘	NPO 法人 蒲生野考現倶楽部
	堀 彰男	滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会
	三和 伸彦	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	村上 悟	NPO 法人 碧いびわ湖
	望月 孝幸	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	山口美知子	滋賀地方自治研究センター
	渡辺 維子	公益社団法人 滋賀県環境保全協会

※今回欠席：石河康久(滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課)、伊吹美賀子(琵琶湖流域ネットワーク委員会)、松沢松治(びわ湖の水と地域の環境を守る会)

今回の決定事項(要約)

- ・ 今年度の円卓会議は 9 月 16 日(日)に開催する。
- ・ 今年度の円卓会議のテーマは「さかなの旅、ふたたび ～取り戻そう 山・里・湖のつながり～」とする。
- ・ 円卓会議の新名称は、「びわコミ会議」とする。「コミ」には、「コミュニティ」「コミュニケーション」「コミットメント」などの意味を込める。
- ・ 9 月 16 日のスケジュールは、以下の 2 部構成とする(詳細は今後検討)。
10:30～12:00 琵琶湖の現状に関する評価(指標などを活用)
13:00～16:30 全体話題提供→分科会→全体討論

1. 円卓会議開催日程について

今年度の円卓会議の開催日程は、運営委員会委員で都合の悪い人がおらず、また知事も出席可能である 9 月 16 日(日)で決定とする(知事には午後のプログラム全体に出席してもらう)。

2. 毎年の円卓会議のテーマの決め方について

毎年の円卓会議のテーマの決め方について、参加者より以下の意見が出された。

- ・ 毎年の統一テーマを円卓会議で掲げ、それを可能な地域フォーラムと共有することで連携を図る。またその成果はしっかりと施策に反映させていく。
- ・ どの内容がテーマとして取り上げられたか、あるいは取り上げられていないかを把握しながら、テーマを積み上げていくことで、10 年後に課題全体を網羅できるような青写真を持つておくことが必要である。ただし初年度からきっちり固めておくのではなく、テーマはその年の状況に応じて順応的に見直していく。

- ・ 青写真をつくる際には、シナリオ研究会市民ワークショップで作成した将来像の図を活用するのがよい。一つ一つの文章に着眼し、毎年のテーマがどこに該当するのかを確認しつつ、重要な点については何度も議論しながら成果を出していく。
- ・ 円卓会議は、今琵琶湖で何が問題になっているのかを共有し、行動を起こすきっかけになることが重要である。それにつながるテーマ選定やプログラム等の検討が必要である。

3. 今年度円卓会議のテーマについて

今年度の円卓会議のテーマは、前回の運営委員会で提示された「(内湖・ヨシ帯・水田における)物理的なつながりの復元」を基本としつつも、以下のような議論を踏まえ、「さかなの旅、ふたたび～取り戻そう 山・里・湖のつながり～」に決定した。その経緯で出された意見は以下の通りである。

- ・ 「物理的な」という言葉は固いので入れない方がよい。「在来魚が暮らしやすい環境づくり」というのが根底のテーマと考えられる。
- ・ 第1回円卓会議で議論された内容は、主に湖辺域のつながりに関するものであったが、湖辺域での課題は山を含む流域全体にも通ずる部分がある。中上流域の水田に稚魚を放流する取り組みを行ったことがあるが、湖辺域の水田と琵琶湖とのつながりなどにも触れて説明ができる。対象地域は湖辺域だけでなく、より広く捉えられるのではないかと。
- ・ アユやビワマスに着目すれば、湖辺から山にかけての川のつながりも重要となる。ため池も、魚や卵の供給源としての役割を果たしている。
- ・ 物理的なつながりを、人目線ではなく、生きもの目線で語り合う場としたい。
- ・ 「つながりを復元しよう」というだけでは問題の本質を理解できない。「つながりが壊されたのはなぜか?」「ゆりかご水田が広がらないのはなぜか?」などの理由を確認した上で、多様な立場の視点から話し合うことで、本質的な議論ができると考えられる。

4. 円卓会議の新名称について

議論の結果、円卓会議の新名称は、「びわコミ会議」となった。なお「コミ」には、「コミュニティ」「コミュニケーション」「コミットメント」などの意味を込める。

5. 市町との連携に関する協議の進捗について

マザーレイクフォーラムと市町との連携について、地域フォーラムとテーマを共有することから始めるべく、滋賀県担当者が市町との協議を進めている。その進捗について、各担当から以下のように報告があった。

- ・ これまで協議を行ったのは、野洲市、米原市、彦根市、湖東環境事務所、流域治水政策室、環境フォーラム湖東である。
- ・ 市町と話をした際の全体的な印象として、「県が来るとまず身構える」ということが挙げられる。そのため、「一緒にやりましょう」という話になかなかならなかった。
- ・ 一方で流域治水政策室については、これまで5回開催してきた「淡海の川づくりフォーラム」において、テーマがあることでむしろ議論が活発になることが想定されるため、相互補完的に取り組めることから前向きに検討してもらえることになった。
- ・ 米原市については、毎年「まちづくり」に関するフォーラムを実施しているが、毎年テーマを検討しているため、テーマに関する連携について前向きな反応が得られた。
- ・ 環境フォーラム湖東は、お互いが補完しあえるような(凸と凹が重なるような)関係でなければ連携は難しいということであった。また、テーマに応じて毎年連携先を変えてはどうかというアイデアをいただいた。

以上の報告を受けて、参加者から以下の意見が出された。

- ・ 市町は人材不足で、特に環境部局にはなかなか人員を配置してもらえず、力がない状況である。テーマごとに話を持ちかけるか、あるいは企画部局に話を持ちかけるかといった方法を考えた方がよいかもしれない。

6. 運営委員会からの連絡・広報等の発信名について

運営委員会から連絡・広報等を行う際、委員長名での発信が必要となるが、これまで委員長は特に決められていなかった。欠席者もいたことから、次回の会議で委員長を選出することとした。

7. 円卓会議のプログラムについて

時間不足により十分な議論はできなかったが、9月16日のスケジュールは、以下の2部構成とすることで合意された。特に、開始時間と終了時間はこれでFIXとする（準備の都合上、10時開始は不可）。

10:30～12:00 琵琶湖の現状に関する評価（指標などを活用）

13:00～16:30 全体話題提供→分科会→全体討論

8. 次回運営委員会での検討項目について

以上を踏まえると、次回運営委員会での検討項目は以下の通りとなる。

- (1) びわコミ会議当日のプログラムの具体案について
- (2) びわコミ会議のアウトプットについて

【当日のホワイトボードのメモ】

1. 9月16日(日)

4. テーマの決め方と...
 地域(日)との連携
 テーマの継上げ → 10年後に全体をもう一
 統一テーマ → 施策につなげる

『行動力を起こるきっかけ』
 ← “今何か問題にあてはまるか?” を共有
 ある程度の進め方の書き真をもっており、
 ⇒ 順応的に見直したテーマ設定

さかなの旅、ふたたび 魚にとっての -
 さかなの旅、水のつながり 水のつながり

2 テーマ ^{これをつけるかどうか? 壊されたなぜ?}
 物理的なつながりの復元 教育
 第一からの連続性 在来魚がくらしやす、遊ま
 づいて。 **○○月線** + **生きもの視線**
 ・湖辺の課題 → 流域全体・山にもつながる。
 山での取り組みを湖辺に照らして説明できる。
 ・アユ、ビワマス → 湖辺から山にかけてのつながり
 (頭首工、水割工 etc... (11))

魚、卵の供給源としてのため池
 魚の目線と山、湖のつながり、かわい魚には
 魚の旅 復元、何が? 何が?
 魚の道場をどう取戻すか?
 暮らしにくくなった魚の生活空間をどう取り戻すか

見ら
 魚から見る
 魚が見る

・びわ(湖)未来会議
 (こ)み

・びわコミュニティ会議

・びわコミ会議 / びわこみ
 (コミニティ、コミットメント、コミニケーション...)

びわコミ
 びわコミ

biwa-commi
 びわコミ会議

BiWAコミ会議 **次回テーマ**
 ・プログラムの具体案
 ・アウトプットの方法

日程

9/ ²9. ³10. ³11. ³12. ⁴13. / ⁴17. ⁵18. ⁵19. ⁵20. / ²23. ²24. ³25. ²26. ¹27. (#)

◎野洲, 米原, 彦根, 湖東車庫所.
 流域治水, 環境F湖東
 ・県が来るとまず構える。「一緒にやろう」とひらない
 ・流域治水は昔にのびてくれた。相互補完可
 ・米原「まちづくり」がテーマ。毎年テーマを変える。
 来年はビワマス
 ・環境部局 → カからない
 テーマごとに話をもっていくか。企画部局にもっていくか
 委員長: 松沢さん? → 行政・専門・米とつなげる。

10:30-12:00 詳細(びわ湖の現状)

13:00-16:30 全体 → 分科会 → 全体 (アウト)

- 以上 -